

国際大会参加者による活動紹介 「ウミガメの放流」



地区社会・国際奉仕委員会
栗原和子（秦野RC）

シンガポール国際大会に参加（2024年5月）

【参加メンバー】

- ・地区社会・国際奉仕委員会 4名
鎌倉RC 鎌倉中央RC
本厚木RC 秦野RC
- ・鎌倉RC 4名 + 家族1名
- ・東京白金RC 1名



シンガポール国際大会 ～開会式～



シンガポール国際大会 ～地区ナイト～



バリ島・タートルアイランドのウミガメ保護施設

<きっかけ>

地区社会・国際委員会のメンバーが
「ウミガメ保護活動」の支援者



バリ島・タートルアイランドのウミガメ保護施設



ウミガメについて

生態

- 産卵は一度に100個、概ね2か月で孵化
- 外敵に狙われやすく生存率が低い
- 孵化するまでの砂浜の温度で性別が決定
- 何年も海を回遊し、産卵は故郷の砂浜に戻る
- クラゲ、海藻が大好物

ウミガメについて

なぜ激減したか

絶滅危惧種

- かつては食用、「ベッコウ」目的の乱獲
- 地球温暖化
- プラスチックゴミをクラゲと間違え誤飲
- 延縄の鈎針を誤飲、漁業用の網に絡まるケガ多発
- 海岸開発により産卵する砂浜の減少

バリ島・タートルアイランドのウミガメ保護活動

- ウミガメの産卵の観察
- 孵化した子ガメの保護
- 子ガメの放流
- 怪我したウミガメの引取りと保護



タートルアイランドは小動物とのふれあいも！



子ガメの放流



1匹 = 300,000ルピア

絶滅危惧動物の保護活動に対しての感謝状



最後に

ウミガメは、海洋生態系を維持し、生物多様性に貢献

ウミガメ保護活動の課題は・・・

**地球温暖化とプラスチックごみ等の環境問題
&
財源の確保**

ご清聴ありがとうございました

地区社会・国際奉仕委員会
栗原和子（秦野RC）